

広島県中小企業団体中央会 2015年9月分情報連絡一覧表

(食料品)

●食料品

中国醤油醸造協同組合

9月の出荷量は前月比8.2%増加、前年同月比5.9%増加、売上高は前月比8.8%増加、前年同月比2.6%増加となった。

(木材・木製品)

●木材・木製品

広島県木材協同組合連合会

平成27年8月の全国新設住宅着工数は80,255戸で、前年同月比では8.8%増加となった。また、季節調整済年率換算値では93.1万戸（前月比11.8%増加）となった。利用関係別では、持家は25,245戸で前年同月比4.1%増加、貸家は33,470戸で前年同月比17.7%増加、分譲住宅は21,212戸で前年同月比2.6%増加と共に増加となった。なお、木造住宅の着工数は45,140戸で、前年同月比11.0%増加となった。

住宅着工の動向については、前年同月比で6ヶ月連続の増加となっており、昨年4月の消費税増税前の駆け込み需要の反動減の影響が薄れ、持ち直していると見られる。反動減の影響が大きかった持家も前年同月比で4ヶ月連続の増加となり、今般の経済対策等の効果の表れだと思われるが、引き続き今後の動向をしっかりと注視する必要がある。

こうした全国の動きに対し、広島県内の着工数は1,451戸で前年同月比3.7%の減少となった。このうち、持家が488戸で前年同月比13.40%の増加、貸家は558戸で前年同月比46.8%の増加となっているのに対し、分譲は404戸で前年同月比41.8%の減少となった。地域別では、広島市は着工戸数646戸で13.5%減少、呉市は47戸で71.7%減少の一方で、福山市は着工戸数235戸で7.8%増加、東広島市は着工戸数273戸で237%増加となるなどばらつきがあり、全体的に見れば景況の回復は十分とは言えず、組合員からの聴き取りでも、経営状況は依然厳しいとの声が多く聞かれ、今後の動向をしっかりと注視していく必要がある。

福山木材協同組合

住宅着工は微増となっている。

(化学・ゴム)

●工業用ゴム製品

中国ゴム工業協同組合

円安の進行にもかかわらず、国内景況感の改善は感じられず、特に自動車業界においては、自動車メーカーの好決算に対し部品メーカーは国内生産台数減、プライスダウン要請や原材料高、人件費の高騰を受け、大変厳しい状況にある。昨今の円安効果には疑問を感じている。今後アメリカの金利の引き上げが実施されるとさらなる円安状況を招き、国内物価上昇、国債の信認低下が起きる可能性も考えられ、安心して国内で雇用拡大、投資拡大をする雰囲気ではない。さらに、最近の中国における株安から始まる中国経済のバブル崩壊の懸念が現実味をおびてきており、景況の先行き感には誠に不透明である。

●プラスチック製品製造業

広島県プラスチック工業会

9月は8月に比べて全体的には売上は上昇傾向にある。しかし、10月以降は横ばい傾向が予測される。

消費財市場への販売に勢いは感じられない状況である。

(窯業・土石製品)

●窯業・土石製品

広島地区生コンクリート協同組合

出荷状況(24工場)

27年9月 2,951 m³ (対前年比 8.8%減少)

27年8月 2,561 m³

26年9月 3,234 m³

(鉄鋼・金属製品)

●鉄鋼業

軋鉄鋼協同組合連合会

今年に入り、当団体外部からの問い合わせも含め、貸し倉庫の問い合わせが多く、現在もその状況が続いている。

後継者がおらず、昔からのものづくりが近い将来出来なくなる製品が出てくると思われる。

マイナンバー制度が始まろうとしているが、税・社会保障を所管する省庁からの説明もなく、内閣府のみが前に進んでいると思われる。自ら積極的に情報を取りにいかないと情報を得られず、また情報があっても必要な措置について全く記載のない現在の状況をなんとか是正して欲しい。

(一般機器)

●一般機械器具

協同組合三菱広島協力会

広島県西部観音地区においては、コンプレッサ関係、製鉄関係が低操業のため、それに伴い協力会社各社の操業も低調である。

江波地区においては、航空機の増産体制が整いつつあり、それに伴い、協力会社各社の操業の山も高くなっている。

広島県東部機械金属工業協同組合

今月は、前月比 16%増加、前年同月比 18%減少となった。前年は大型物件があり、前年同月比が大幅に減少となっている。

(電気機器)

●電気機械器具

(電気) 広島県東部機械金属工業協同組合

今月は、前月比 5%増加、前年同月比変化なしとなった。輸出物件が増加している。

人の集まりがよくない。特にパートタイマーの集まりが悪い。賃金の高騰が続いているので、収益や人員確保に大きな問題がでている。賃金の高騰の原因となっているため、人材派遣会社の規制が必要だと思う。人材確保の課題が鮮明である。

省エネルギー補助金はどうなるのであろうか。

(輸送用機器)

●輸送用機械器具(自動車)

東友会協同組合

9月の国内自動車販売台数は全需が 479 千台、前年同月比 7.9%減少と 9ヶ月連続の前年割れとなった。登録車は前年比 3.0%減少と 2ヶ月振りの前年割れ、軽自動車も 14.7%減少と 9ヶ月連続の前年割れとなった。

マツダ車は 15.6%増加と 7ヶ月連続の前年超えとなった。

アメリカの 8月の全需は 1,577 千台で前年同月比 0.5%減少と 18ヶ月振りの前年割れ。マ

ツダ車は同 4.4%減少と 2 ヶ月連続の前年割れとなった。

欧州の 8 月の全需は 915 千台で、前年同月比 1.0%増加と 3 ヶ月連続の前年越えとなった。マツダ車も同 19.1%増加と 3 ヶ月連続の前年越えとなった。

中国の 8 月の全需は 1,801 千台で、前年同月比 5.0%増加。マツダ車は 1.2%増加と 7 ヶ月連続の前年越えとなった。

上記各地域の状況下、マツダ車の 8 月の海外販売合計台数は 106 千台、前年同月比 10.3%増加で 26 ヶ月連続の前年越えとなった。

マツダの輸出動向については、欧州向け輸出台数が大幅に減少し、全体では前年比 5.2%減少と 2 ヶ月振りの前年割れとなった。

マツダの 8 月の国内生産台数は、前年同月比 16.0%増加と 3 ヶ月連続の前年越えとなった。

●輸送用機械器具（造船）

中国地区造船協議会

県内 2,500 総トン以上の平成 27 年 9 月の船舶建造許可実績は 3 隻 202,750 総トン（前月 7 隻 323,400 総トン、前年同月 7 隻 201,200 総トン）であった。なお、全てが貨物船で輸出船となっている。

（社）中国小型船舶工業会

中小造船業については前月と大きな変化はない。

●輸送用機械器具（造船関連団地）

呉鉄工業団地協同組合

船舶関連は好況であるが、収益性は悪化している。

（その他）

●家具・装備品

広島家具工業協同組合

9 月末より学習デスクの展開が始まった。出足はまずまずとのことであり、去年は苦戦を強いられたので今期は期待したい。

（卸売業）

●卸売業（総合）

協同組合広島総合卸センター

都市部及びそれ以外でも出張時のホテルがとれないとのコメントがある。外国人旅行客の増加による影響ではないかと思われる。

「資材関連」においては、公共・民間からの受注は前年比増加で推移している。新設住宅着工数は減少しているが、持家・貸家が増加し全体では増加傾向にある。LED 照明は引き続き堅調に推移している。

「食品」においては、9 月の売上は著変なく売上は前年並みである。

「繊維」においては、朝晩の気温低下により、秋冬肌着の出足はまずまずである。国内縫製工場がフル稼働の状態であり、供給面にやや不安がある。

「雑貨」においては、生活雑貨について、外国人からの引き合いが増加傾向にある。メーカーからの割当数量に限度があり、商品によっては品薄感がある。売上は前年比やや良化の状況である。

●卸売業（電設資材）

広島県電設資材卸業協同組合

民間企業の設備投資が増加し、昨年度に比べて業界としては好況である。省エネ商材への関心も高まっており、LED 照明を中心に販売が好調である。今後も提案活動に努め需要に

応じた商品提案に力を注いでいかなければならない。

●卸売業（家具）

リビズ株式会社

引き続き地域振興券の恩恵を受ける店舗もあるが、店舗によってはそれも落ち着いてきている。

●卸売業（畳・敷物）

広島県藁製品商業協同組合

国産表では、各種展示会を開催し、畳表の生産はフル稼働している。相場は上物（本間畳表）は高値で推移している。全体的に高値強含みで推移している。この要因としては、国産表への人気が依然として高いことが伺える。

一方、中国産では公害問題をクリアした工場においては古物のい草や新草の生産に着手している。相場は寧波・四川省いずれも高値で押している。

輸入業者筋では、価格・商品を様子見している状況である。思い切った買いはまだ入っていない。

近年、和室の割合は減少しており、商店数も減少し化学表も増えている為、長期的に見ると需要が伸びないことは明らかであり、下降傾向といえる。

（小売業）

●各種商品小売業

協同組合三次ショッピングセンター

シルバーウィークは市外への流出が多く、客数が伸び悩んだ。

チューリップチェーン商業協同組合

学校が夏休み中の前月より売上は増加したが、前年は下回った。9月の気温は平年より高い日が3日しかなかったように、秋らしい日が早くから続いた。このことで、我々食品を扱う業種は秋商品の販売の仕掛けを早くから実施したが、思ったほどの効果が得られず、売上は伸び悩んだ。

●家庭用電気機械器具小売

広島県電器商業組合

9月度の販売実績は前年同月比 10.7%減少となった。商品別では、薄型テレビ前年同月比 14.4%減少、BDレコーダー同 20.2%減少、音響・車載機器同 21.6%減少、冷蔵庫同 1.3%減少、洗濯機同 7.8%減少、エアコン同 5.7%減少、エコキュート同 11.6%増加、IHクッキングヒーター同 1.6%減少となった。

組合員においては、各自治体のプレミアム商品券の登録店が少なく、登録した店舗でも使用者は少なく売上には寄与していない。

（商店街）

●商店街（各種商品小売業）

呉本通商店街振興組合

当商店街では、商店街の情報を「かわら版」として毎月発行し、商店街だけでなく地域の方々にも喜ばれている。

（サービス業）

●自動車整備業

広島市自動車整備団地協同組合

車検台数は前月比 15.7%増加、前年同月比 8.1%減少。車検場収入は前月比 11.5%増加、前年同月比 9.5%減少。重量税・登録印紙の売上は前月比 25.0%増加、前年同月比 14.7%の減少

となっている。

上半期(4月～9月)の実績と前年比を見ると、車検台数は91台の増加、前年比2.71%の増加。車検収入は150,388円増加、前年比2.12%増加。重量税・登録印紙の売上は、366,812円の減少、前年比0.6%の減少となっている。

●広告業

広島県広告美術協同組合連合会

一段落した傾向が強く、様子見の状態である。こういう状況だと広告の発注は減少する。

●情報サービス

(社) 広島県情報産業協会

引き続き相変わらず技術者が不足している。

(建設業)

●工事業

広島県室内装飾事業協同組合

9月の売上については、前月比84%増加、前年同月比14%減少となっている。

前月比で見るとカーテン工事が107%増加、敷物工事は71%増加、壁装工事も71%増加と大幅な増加となった。

前年同月比では、カーテン工事については32%減少と落ち込んだが、敷物工事は6%増加、壁装工事は6%増加となった。

工事物件については、前年累計で6%減少とほぼ横ばいであるが、敷物工事については49%増加と大きく増加している。工事物件はあるものの、内装工事全体では低調な推移であった。依然、企業間格差は大きくなっている。

福山地区電気工事業協同組合

9月における工事受注件数は、前月比33%増加、前年同月比28%減少となった。

神辺建設業協同組合

県東部において今後生コンクリートの単価が上昇するとの情報もあり、関連資材の価格動向が危惧されている。

(運輸業)

●道路貨物運送業

松永地区トラック事業協同組合

9月は、秋雨前線による天候不良やシルバーウィークによる休日増により、貨物輸送量は前年と比較すると、大幅に減少した。ワークライフバランスと言われているが、運送会社にとって稼働日数の減少は、即売上高の減少につながり、致命的になる。

軽油価格は一時期に比べると価格は下がったとはいえ、高止まりの状態を脱しておらず、経営に与える影響は依然として変わっていない。

人材不足の状況は前月同様で、募集しても反応がない。本来は経験者で即戦力になる人材が欲しいところではあるが、未経験者であっても時間をかけて教育して育てていくしか方法はないのが実情である。

広島輸送ターミナル協同組合

荷物の動きが未だ活発ではない。車両も足りない状況で、荷物と車両がミスマッチの状況となっている。

燃料価格は安定しており、収益に寄与すると思われる。

広島県ロジネット協同組合

9月の貨物量は、前年の3割増し程度活発に動いたようである。シルバーウィークも影響

し、荷物のピーク時期が14日～18日となり、例年のピークである20日より1週間ほど早く動き出した。その後月末にかけて失速せず、物量は安定して動いたようである、ただ、荷物が動いた分、車両不足となっており、年末に向けて車両不足が懸念材料である。

軽油価格においては、8月のお盆以降値下げ傾向が続いており、中国経済の悪化等に伴う値下げの余波は9月も引き続き影響を受けているようである。トラック業界としてはプラス材料ではあり、今後もこの状況は続くのではないかと見ている。

●水運業

全国内航タンカー海運組合中国支部

船員の高齢化が進み、船員不足である。若年船員が育たない。
運賃、用船料の改善が見られない。

(その他)

●不動産業

広島県不動産評価システム協同組合

前月比、前年同月比において、9月の売上はやや減少し、収益状況は悪化したが、資金繰りに影響はない。不動産市場の投資目的物件も依然様子見の状況ではあるが、価格は上昇傾向である。